

令和8年5月25日

中東情勢の悪化に伴う影響に関するアンケート調査の結果について

一般社団法人神戸貿易協会（所在地：兵庫県神戸市）は、神戸の貿易関連企業を対象に「中東情勢の悪化に伴う影響に関するアンケート調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

調査の結果、回答企業の32%が売上高減少、41%が純利益減益と回答し、神戸の貿易関連企業においては、中東情勢の悪化に伴う資材高騰及び輸送費高騰が経営を圧迫しつつある状況が明らかとなりました。この他、足下の経済環境下において、更なる企業経営発展に求める支援として、「販路開拓・国内外のビジネス拡大」（30%）、「物価高の影響に対する支援」（27%）を求める声がありました。

本調査は、神戸の貿易関連企業（貿易業界）の現状把握と今後の支援の在り方を検討することを目的に実施したものです。

1. 調査概要

調査期間	令和8年5月11日～5月19日
調査対象	神戸の貿易関連企業（161社）
調査方法	FAXによるアンケート調査
有効回答数	31社（回答率19%）
実施団体	一般社団法人神戸貿易協会

2. 主な調査結果

1. 「中東情勢の悪化」による自社への影響について

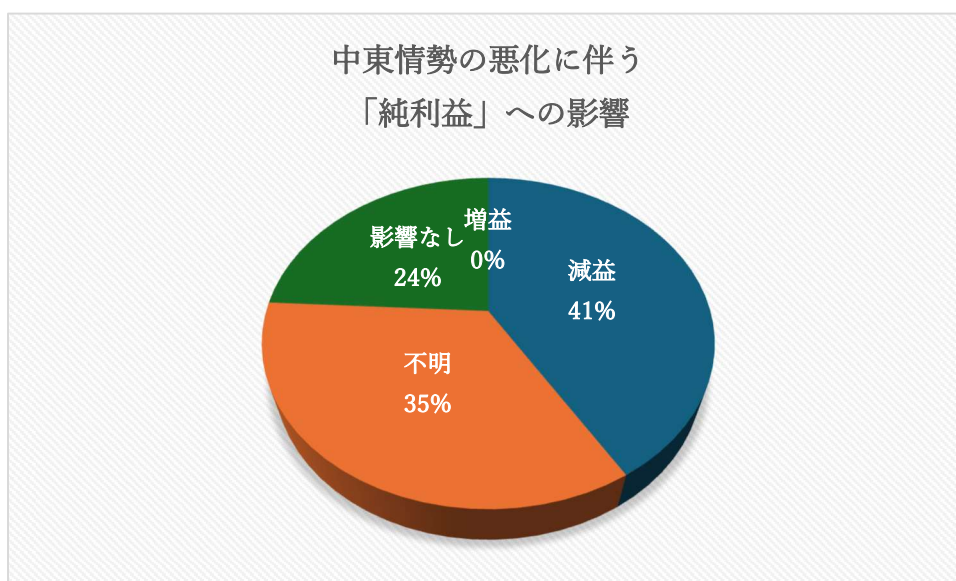
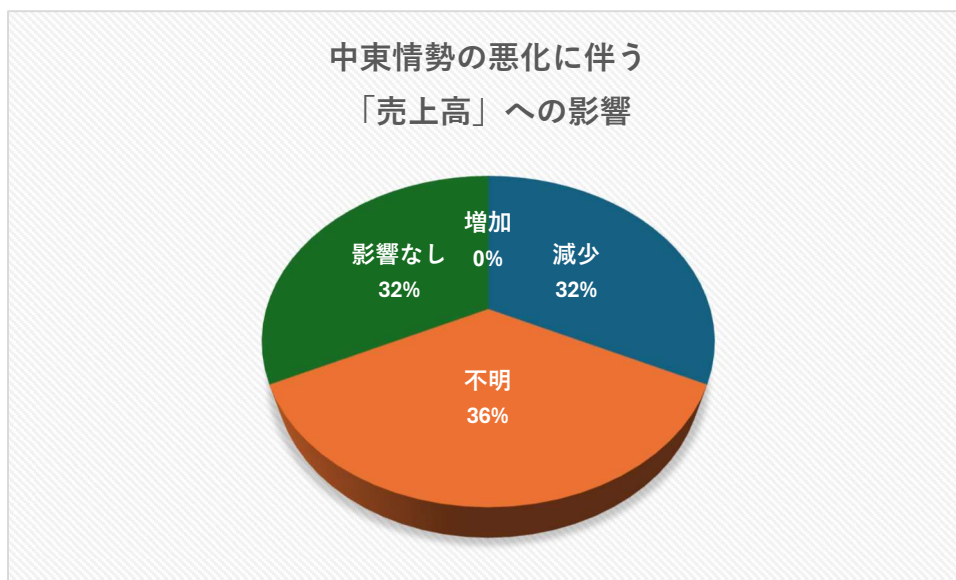
回答のあった企業の32%が売上高減少、41%が純利益減益となり、神戸の中小貿易企業においては、資材高騰及び輸送費高騰が経営を圧迫しつつある状況が明らかとなりました。個別企業の回答では、以下の声があったところです。

【中堅商社】

原材料価格や物流費の高騰に対し、企業が適正な価格転嫁を行えるよう流通・小売を含めた取引環境の適正化支援を強化して欲しい。

【輸入機能を持つ食品メーカー】

円安と原材料価格の高騰は、経営を圧迫する大きな要因となっている。輸出促進支援だけでなく、輸入コスト増に苦しむ製造業者への直接的な支援策を検討頂きたい。

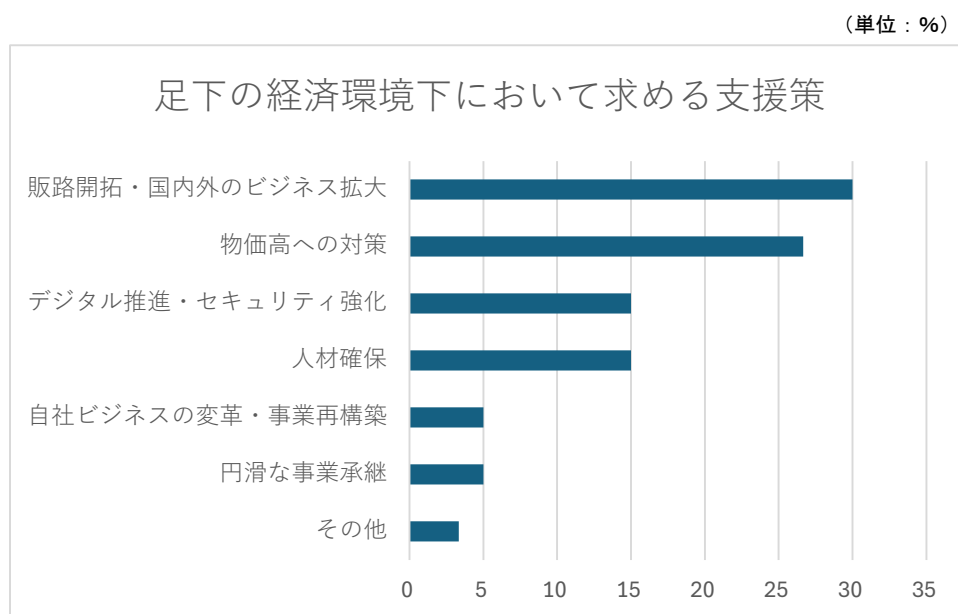


2. 資材高騰・輸送費高騰の内容について

回答のあった企業の平均値上げ率は、資材高騰 12%、輸送費高騰 9%でした。この内、資材高騰では包装資材・パレットの値上げ、輸送費高騰では燃油サーチャージが懸念されているところです。

3. 足下の経済環境下において、更なる企業経営発展に求める支援策について

最も多かった回答は、販路開拓・国内外のビジネス拡大（30%）で、次に物価高への対策（27%）でした。その他は以下の図のとおりです。



3. 調査結果から見える課題と対処方針

今回の調査では、中東情勢の悪化が神戸の貿易関連企業の経営に悪影響を与えていることが分かりました。

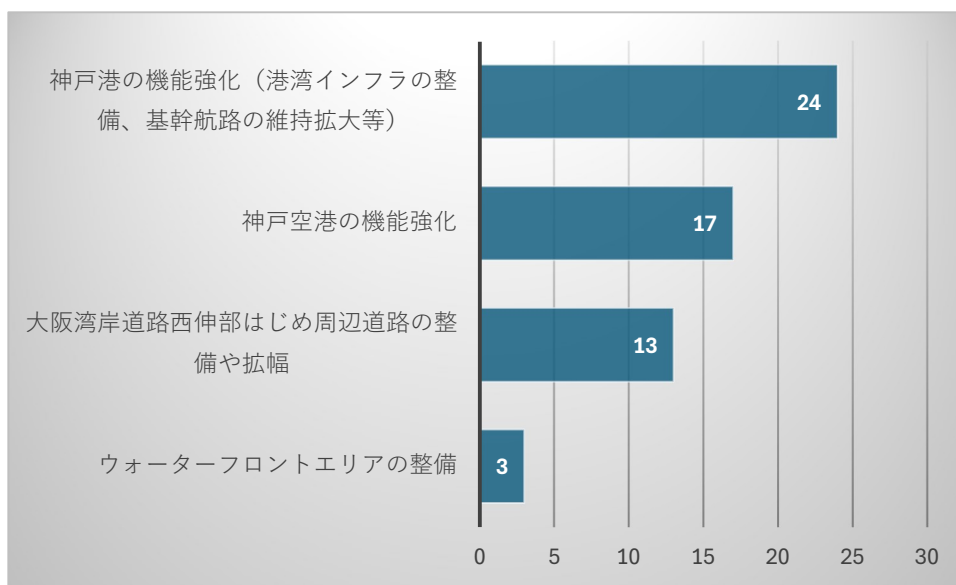
その要因として、資材高騰や輸送費高騰に伴う包装資材・パレット・燃油サーチャージ等の値上げに対する懸念の声が多く寄せられました。

当協会では、今後、本調査の結果を関係する国・地元自治体等に届け、更なる支援の拡充・強化を求めてまいります。

（その他調査の結果）

1. 自社ビジネス及び貿易業界の発展に向けて必要と考える「インフラ整備」について

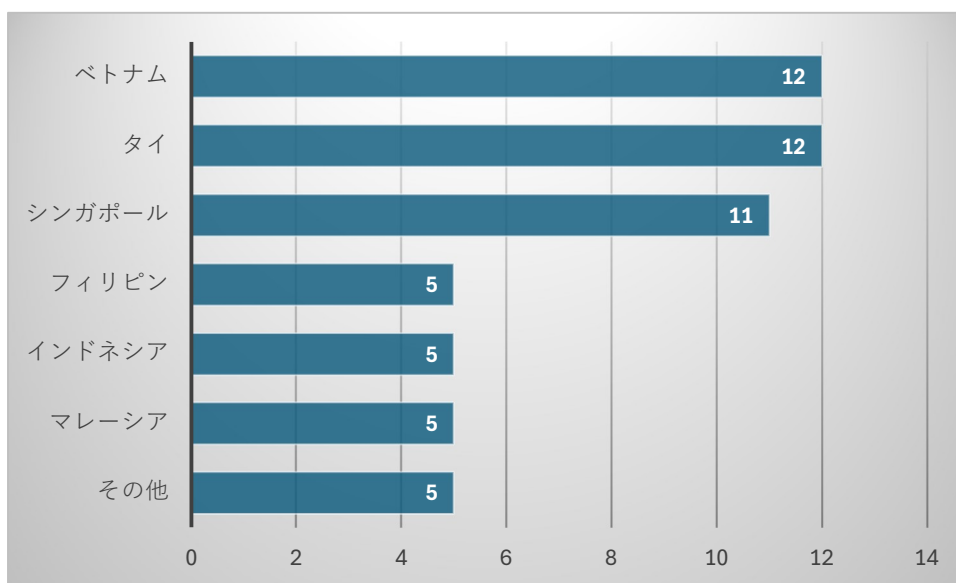
（単位：件）



2. 神戸空港国際線の利用ニーズ（新たに就航を希望する国・地域）について

ベトナム、タイ、シンガポールの順に多く、その他として挙げたのは、香港、インド、米国（サンフランシスコ）、オーストラリアでした。

（単位：件）



4. 一般社団法人神戸貿易協会について

法人概要は以下 HP サイトをご覧ください。

<https://kobe-fta.or.jp/overview/>

(本資料のお問い合わせ先)

一般社団法人神戸貿易協会 常務理事 濱崎 浩

TEL : 078-251-3341

メールアドレス : hamazaki@kobe-fta.or.jp